

[別記様式第2号]

水産物供給基盤機能保全事業基本計画書
(保全工事の実施)

- 1 地区名
富津市地区
- 2 位置図等

都道府県名	千葉県	漁港管理者名	富津市	事業主体名	富津市	所管名	本土
対象漁港名 (所在地)	大貫漁港 (千葉県富津市小久保)						
位置図	別紙のとおり						

第1種漁港 大貫漁港 全体写真



4 対象漁港一覧

大貫漁港（漁港番号 1910450）

港勢調査：H27 年

漁港種類	第 1 種	所管	本土	漁港所在地	千葉県富津市小久保
地域指定	半島振興法、自然公園（国定公園）				
属地陸揚量	513.2 トン	属人陸揚量	513.2 トン	属地陸揚金額 218 百万円	
登録漁船数	105 隻	利用漁船数	105 隻	利用遊漁船等	1 隻
採択要件	利用漁船の実隻数が 50 隻以上 登録漁船隻数が 50 隻以上 陸揚金額が 1 億円以上				
主要な漁業種類	のり類養殖、小型底びき網				
主な魚種	のり類、あなご類、こういか類、すずき類				
地区の特徴	<p>富津市は、房総半島の中西部東京湾側に位置し、南北 40km に及ぶ海岸線と、緑豊かな鹿野山や、切り立った崖の鋸山など、海や山に囲まれた自然豊かなまちである。</p> <p>東京湾に突出した富津岬は、関東の天の橋立といわれ南房総国定公園にも指定されている。富津岬の最先端にある五葉松をかたどった展望塔は、東京湾を一望できるだけでなく、冬に空気が澄んだときは富士山をくっきり観ることができ、ここから観る富士山は絶景で、関東の富士見百景に選ばれている。</p> <p>東京湾アクアラインや館山道の開通で、首都圏からのアクセスが向上し、利便性が高くなり、潮干狩りや海水浴、ハイキングなどで多くの観光客で賑わっている。</p> <p>大貫漁港は、富津岬南側に位置し、漁港区域内に千葉県水産総合研究センターや千葉県水産振興公社があり、東京湾内のつくり育てる漁業の中心的役割を担っていく地域となっている。</p>				
水産基盤の役割	<p>大貫漁港は、古くから水産業の栄えた地域であり、のり養殖、あなご漁、小型底びきを中心とした沿岸漁業が営まれている。</p> <p>本市における水産業は地域経済を支える重要な基幹産業である。漁港の整備をはじめ、貝類の種苗生産試験や種苗の放流による資源の増産等、価格及び供給の安定化に取り組んでいる。また水産多面的機能発揮対策事業等を活用し、漁場の環境・生態系の保全や、海の安全確保に努めており、漁港は必要な物資の供給や、漁獲物の陸揚げ・輸送設備を備える漁業の根拠地として重要な役割を担っている。</p>				

漁 港 施 設 一 覧

No	種類	名 称	規模 (延長等)	建設又は取得 の 年 月 日	建設又は取 得 の 価 格	健全度の 評価結果 (H29年2月)
1	防波堤	南防波堤	L=222.4m ・直立式	大正13年3月31日 昭和34年3月31日 昭和48年3月30日 ～昭和53年12月6日 平成3年3月31日 平成9年3月31日 平成10年3月31日	210百万円	C
2	防波堤	西防波堤	L=196.1m ・直立式	昭和35年3月31日～ 昭和38年3月31日	30百万円	C
3	防波堤	北防波堤	L=167.2m ・直立式 鋼矢板	昭和39年3月31日～ 昭和41年3月31日	23百万円	Ⓐ
27	突 堤	突 堤	L=41.6m ・直立式 鋼矢板	昭和59年3月31日	36百万円	B
5	防砂堤	5号防砂堤	L=14.0m ・直立式	昭和46年11月11日 昭和47年12月20日	10百万円	C
6	防砂堤	6号防砂堤	L=140.8m ・直立式 鋼矢板 ・捨ブロック	昭和57年3月31日 平成6年3月31日 ～平成8年3月31日	287百万円	Ⓐ
7	導流堤	小久保川導流堤 (右岸)	L=81.0m ・直立式	昭和28年3月31日	2百万円	C
8	導流堤	小久保川導流堤 (左岸)	L=116.0m ・直立式	昭和28年3月31日 昭和46年3月10日 昭和46年11月11日	5百万円	C
11	護岸	北護岸	L=33.6m ・直立式	昭和41年3月31日	3百万円	C
11-3	護岸	護 岸	L=243.0m ・直立式	平成3年3月31日	74百万円	C
13	船揚場	南船揚場	L=182.0m ・斜路式	昭和43年3月31日 昭和44年3月31日 昭和59年3月31日	20百万円	C
14	船揚場	北船揚場	L=184.0m ・斜路式	昭和44年3月24日 昭和61年3月31日	21百万円	C
15	物揚場	物揚場(港中央)	L=150.0m ・直立式、鋼矢板	昭和45年3月31日 ～昭和46年11月11日	22百万円	C
15-1	物揚場	物揚場(北側)	L=50.0m ・直立式、鋼矢板	昭和61年3月31日	45百万円	B

※ 診断結果欄の判定ランク (A～D) を (○) で囲っている施設について本事業で実施。

漁 港 施 設 一 覧						
No	種類	名 称	規模 (延長等)	建設又は取得 の 年 月 日	建設又は取 得 の 価 格	健全度の 評価結果 (H29年2月)
16	係 船 棧 橋	係船棧橋	L=70.0m ・ 直立式、コンクリート杭、 鋼管杭	昭和49年3月30日	6百万円	Ⓐ
19	道 路	道 路	L=637.3m ・ アスファルト	昭和55年3月31日	39百万円	C
19-1	道 路	道 路	L=235.0m ・ アスファルト	平成3年3月31日 平成4年3月31日	20百万円	C

【健全度の評価結果「B」の施設について保全工事に着手しない理由】

No	施 設 名	健全度 評価	理 由 等
27	突 堤	B	健全度「B」に対する変状は、上部工とエプロンの目地部の3cm以上の沈下(段差)であり、また、鋼矢板の残存耐用年数は、12年である。段差については、利用上問題となっておらず、鋼矢板の腐食についても問題ないことから当面経過観察とする。
15-1	物揚場(北側)	B	健全度「B」に対する変状は、上部工とエプロンの目地部の3cm以上の沈下(段差)であり、また、鋼矢板の残存耐用年数は、38年である。段差については、利用上問題となっておらず、鋼矢板の腐食についても問題ないことから当面経過観察とする。